



『五目そばをおいしく食べたい』(9月7日)を振り返って・・・

ある日、食堂で、見知らぬおばあさんと相席になった。その人は席を立つとき、「どうぞ、ごゆっくり」と僕に言った。全くの他人があいさつによって他人でなくなってしまった。空間が温かくなってしまった。「五目そば」がとてもおいしく感じられた。まさに「体温のある言葉」だった。

あいさつを怠ると、感じないでいいストレスを感じることになる。そんな世の中になりつつある。全ての人が「五目そばをおいしく食べられるように」、あいさつの力を、相手を思いやる心を、今、見直そう。

〈みんなの感想より〉

●今日の授業で体温のある言葉がわかったので、私も使っていきたいです。そしてたくさんあたたかい空間をつくっていきたいです。そしてこのクラスにもたくさんのいい空間をつくっていきたいです。もっとあいさつをしていきたいと思います。(女子)

●たとえ知らない人でも、あいさつをすることで、親近感が生まれるので、相席する時だけではなく、道で出会った人にも、あいさつをすることを心がけようと思った。(男子)

●ちょっとしたことで「ありがとう」や「ごめんね」という温かい言葉をかけてくれると、言った方も言われた方も心がほっとするので、あいさつをすることはこの先もずっと使っていきたいなと思いました。物をわたしても何もあいさつがなかったら、あげた方は悲しい思いをするので、自分も相手にも気をつけたいです。(女子)

●人に体温のある言葉を言われると、言われた人の気持ちまで温かくなることが分かった。あいさつによって一日に変化が出たり、人間関係が良くなったりするのかなと私は思います。(女子)

●先日、朝、友達と一緒に学校へ登校する時に知らない人から「おはようございます」とあいさつをされました。「おはようございます！」とかえすと、その人はニコッと笑って「学校頑張ってね」と言ってくれました。私はとても気分がよくなって、あいさつをするのも返すのも大切なことなどと気づかされました。これからは近所の知らない人ともあいさつを交わしたいと思いました。(女子)

●僕が相席になったときは声をかけてあげたいし、かけてほしいと思います。たったひとことで空間が変わるので「どうぞ」はとても大切なことだと思いました。あと「ありがとう」もとても大切だと思います。それをいうだけで軽く嬉しい気持ちになれます。この授業を通して心をこめてあいさつしようと思いました。(男子)

●僕はドアが固くて開かなくて困っていたおじいさんにドアを開けてあげたことがあります。そのとき「ありがとう」と言われてとてもいい気持ちになりました。ありがとうという言葉は言ってもらった人を元気にできるということがわかりました。(男子)

●自分以外の他人に気遣ってもらったりしたら、「ありがとう」とこれからも言えるようにしたいです。知らない人でもコミュニケーションをとることはしておいた方が自分も相手も温かい心になるので、自信をもって気遣いができたならと思いました。自分ばかりではなく、周りも一日中気持ちがよくなるように、あいさつを心がけたいです。(女子)